

# 高等学校公民科「公共」における思考力、判断力、 表現力等を育む授業の在り方に関する研究

—大項目B「自立した主体としてよりよい社会の形成に参画する私たち」の  
単元構想の工夫と学習活動の充実を通して—

## 《補助資料目次》

【補助資料1】授業実践で使用したワークシート及び資料プリントについて	1
【補助資料2】事前調査・レディネステストについて	13
【補助資料3】事後調査について	23

令和4年3月  
岩手県立総合教育センター  
長期研修生  
所属校 岩手県立住田高等学校  
板澤毅尚

【補助資料1】授業実践で使用したワークシート及び資料プリントについて

I 第1時

1年「現代社会（公共）」ワークシート 第1時 \_\_\_\_月\_\_\_\_日

1年\_\_組\_\_番 氏名\_\_\_\_\_

本時のテーマ

1 住田町から住田高校に対する教育支援について

(1) 金額は？

(2) どの歳出項目に分類されるの？

(3) 財源はなに？

<input type="text"/>	+	<input type="text"/>
----------------------	---	----------------------

2 住田町の子育て支援について

(1) 子ども（子育て）医療費助成制度

対象	条件	内容
		通院と入院にかかる費用を（ ）が負担。

(2) どの歳出項目に分類されるの？

(3) 財源は？

<input type="text"/>	+	<input type="text"/>	+	<input type="text"/>
----------------------	---	----------------------	---	----------------------

### 3 近隣市町村との比較

#### (1) 近隣市町村の子ども医療費助成制度

	大船渡市	陸前高田市	釜石市
対象			
所得制限			
予算全体の 実質公債費比率			

※実質公債費比率…予算のうち、公債費（借金返済）が占める割合のこと。

#### 4 子ども医療費助成制度のメリットとデメリット

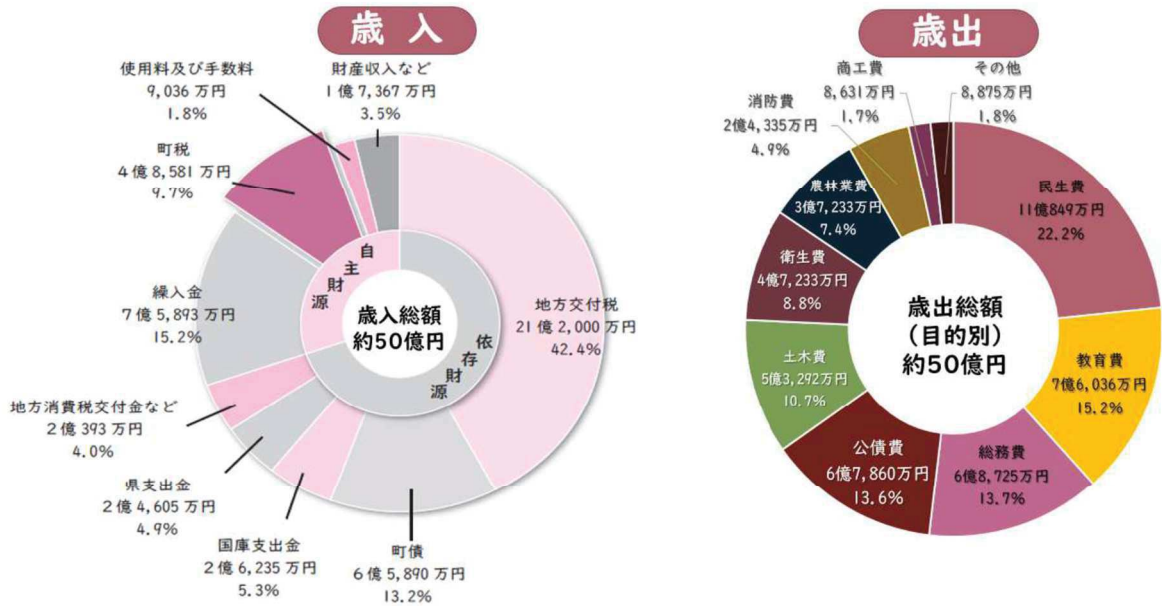
メリット	デメリット

#### 5 住田町などの地方自治体による子育て支援（子ども医療費助成制度）に対して思ったこと、疑問に思ったことは何ですか？

--

第1時の配布資料

資料1 住田町一般会計予算



(住田町広報から作成)

資料2 おもな歳入の用語

地方交付税	国が各市町村の財政力に応じて交付するお金。
町債	国や金融機関などから借り入れるお金。
繰入金	基金(町の預金)などから繰り入れるお金。
県支出金・国庫支出金	目的に応じて県や国から支払われるお金。
地方消費税交付金	消費税のうち、地方(市町村)に交付されるお金。

資料3 おもな歳出項目一覧

①

**民生費**

高齢者・障がい者福祉、子育て支援や医療費の助成などに使われる。

②

**土木費**

道路や橋、公園、町営住宅などの整備・管理に使われる。

③

**総務費**

地域づくりや広報、税金や住民票交付の事務、防災などに使われる。

④

**教育費**

学校教育や生涯学習、スポーツなどの振興、施設の整備や運営に使われる。

⑤

**公債費**

道路や施設を作る時などに金融機関から借りたお金を返済するための費用。

⑥

**農林業費**

農業や林業などで働いている人や森林保護を支援するための費用。

⑦

**衛生費**

町民の健康づくりのための仕事、ゴミを集めたり処理したりするなどの経費に使われる。

⑧

**消防費**

消防・救助活動のほか、消防車や救急車の管理などに使われる。

⑨

**商工費**

商店や企業の支援、観光客の誘致や観光施設を管理するために使われる。

⑩

**その他**

議会運営のための「議会費」、予定外の支出に対応する「予備費」など。

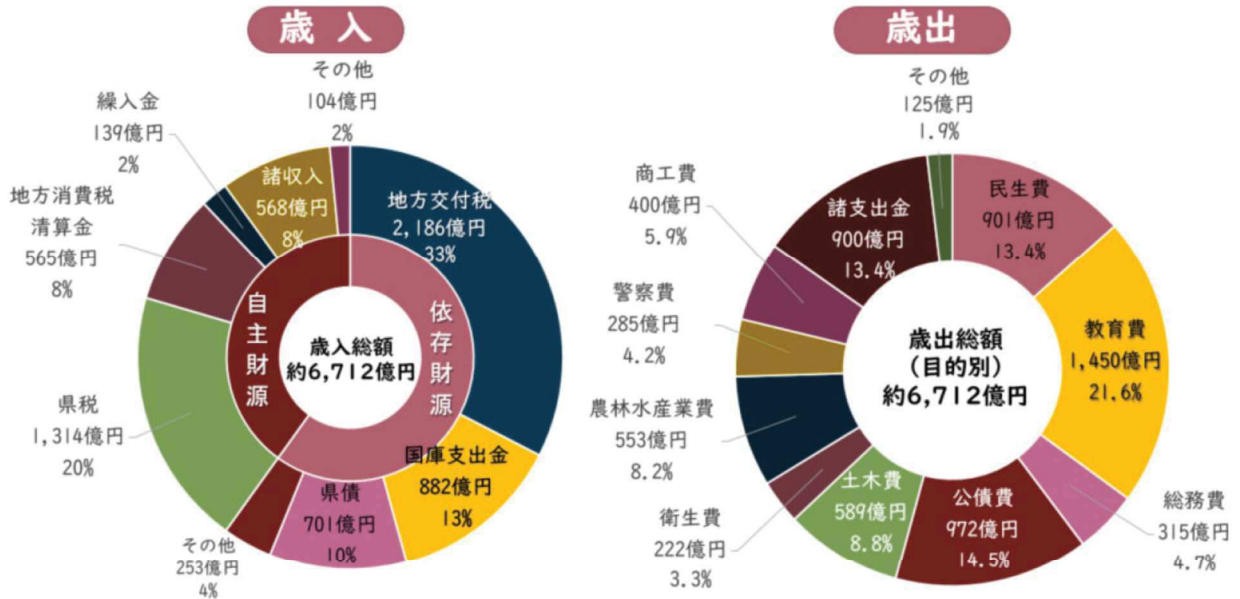
II 第2時

1年「現代社会（公共）」ワークシート 第2時 \_\_\_\_月\_\_\_\_日  
 1年\_\_\_\_組\_\_\_\_番 氏名\_\_\_\_\_

本時のテーマ

I 町の財政・県の財政の比較

図1 岩手県一般会計予算



※震災分を除いた通常分の予算である。  
 (岩手県財政資料から作成)

(1) 住田町・県の財政

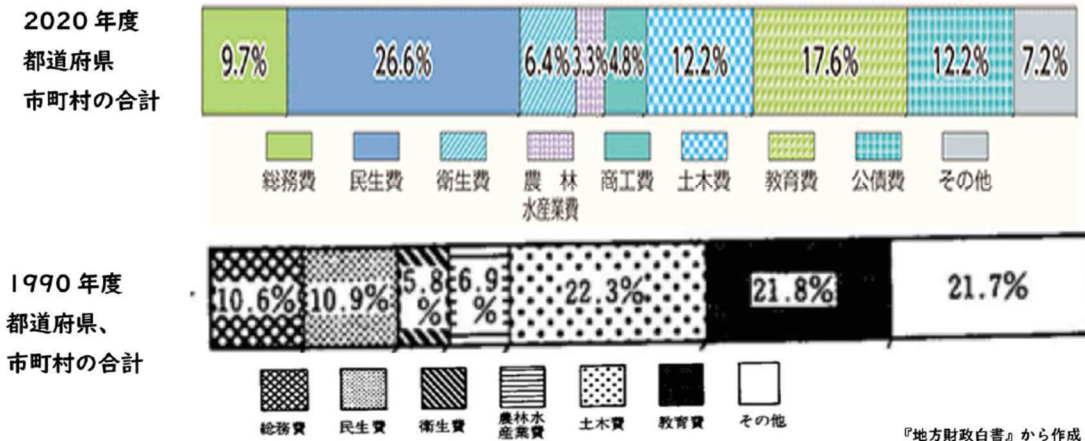
	住田町		岩手県	
	歳入	歳出	歳入	歳出
1位	地方交付税	民生費		
2位	繰入金	教育費		
3位	町債	総務費		

(2) 町と県の財政で共通すること



(3) 地方財政 過去と比較して言えること

図2 2020年度と1990年度の地方公共団体の歳出比較



1990年度と2020年度の地方財政を比較して、  
最も多い歳出項目が [ 民生費 ] から [ 教育費 ] になっていることが分かる。

2 地方財政と国の財政の比較

(1) 我が国の財政

図3 1990年度と2020年度の我が国の財政比較



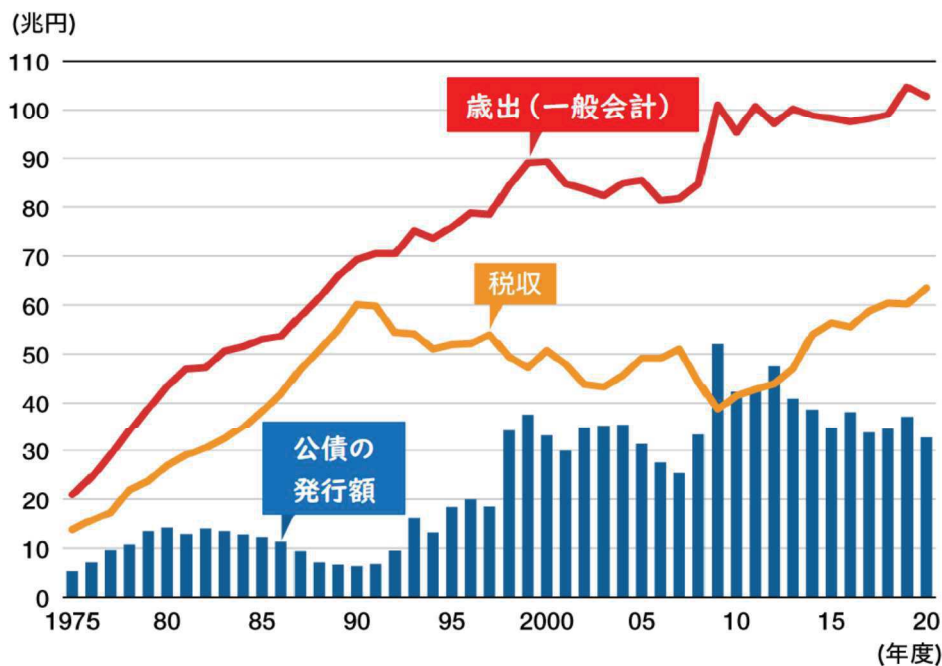
財務省資料から作成

1990年度と2020年度の我が国の財政を比較して、  
歳出：最も増えたのは [ 社会保障 ]、次に増えたのは [ 国債費 ]  
歳入：最も増えたのは [ 税金などの収入 ]

(2) 地方と国の財政で共通して言えること

3 我が国の財政は今後どうなるだろうか。次の図を見て、あなたの予想とその理由を書いてください。また、どのような資料やデータがあると、あなたの予想を裏付けることができるか、簡潔に書いてください。

図4 我が国の財政の推移



※20年度は当初予算額である。  
財務省等資料から作成

① あなたの予想

② 理由

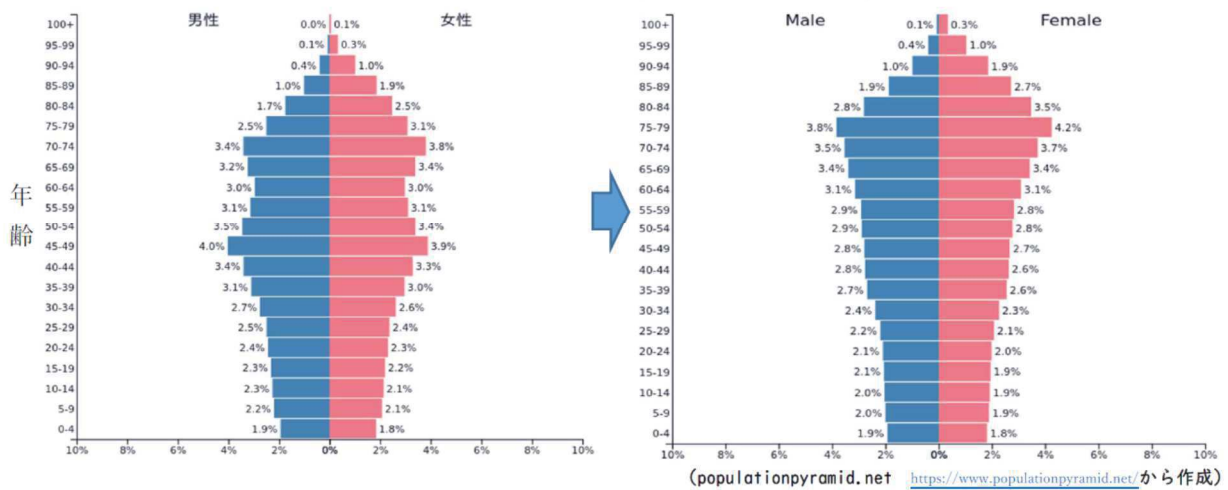
③ どのような資料やデータがあると、自分の予想を裏付けることができますか？





## 2 日本の社会保障制度の課題

図2 日本の人口割合（2020年と2050年）



- ①年々、[ 関係費 ] が増加し、税収不足を [ ] で補っている。  
 ②今後、[ 化 ] が進むと予想されるため、ますます [ ] が増える。

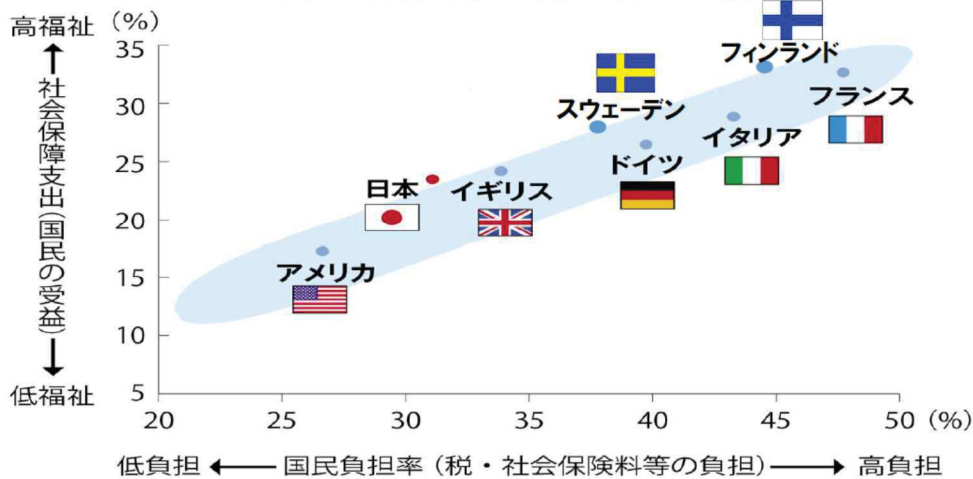
## 3 これからの社会保障制度を支えるために必要なこと

(1) 3つの支え合い → [ ] を組み合わせる。

① [ ]	② [ ]	③ [ ]
自分の暮らしは自分で守る。 自分自身でリスクに備える	「もしも」に備え、家族や地域 が互いに助け合う。	国や地方自治体などが福祉 サービスを提供する。

(2) 国際比較

図3 国民の受益と負担に関する国際比較



	高福祉高負担	低福祉低負担
主な国		
重視する考え方	[ ]・[ ] を重視	[ ] を重視

・今の日本は、[ ]

(3) 高福祉高負担・低福祉低負担の国の特徴

① 高福祉高負担の国

図4 フィンランドの人口割合（約554万人：2020年）

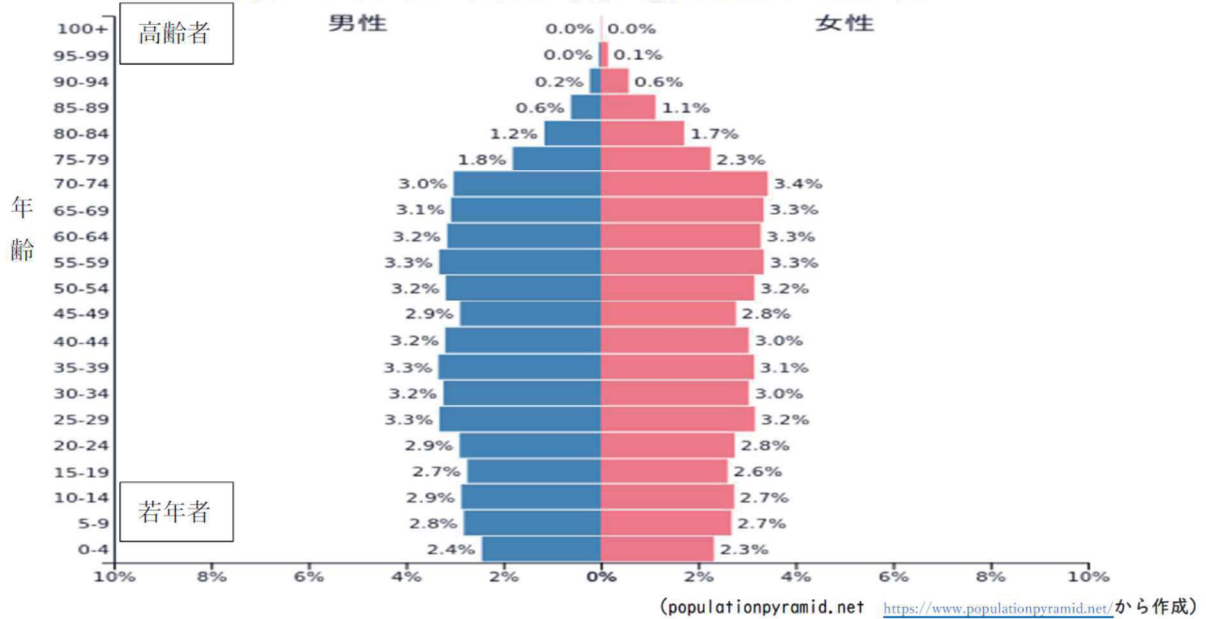


図5 受けられる公的サービスの内容（一部）

項目	内容
子ども (子育て)	・社会保険の一つとして「家族手当」(フランス)がある。 →子どもが2人以上いる家庭には、20歳まで毎月、家族手当を給付する。
教育	・大学までの学費が無償。(フィンランド)
高齢者	・所得比例年金に加え、保険料を負担していない人も一定額の年金を受けられる最低保証年金がある。(スウェーデン)

(厚生労働省等資料から作成)

図6 国民負担率の国際比較

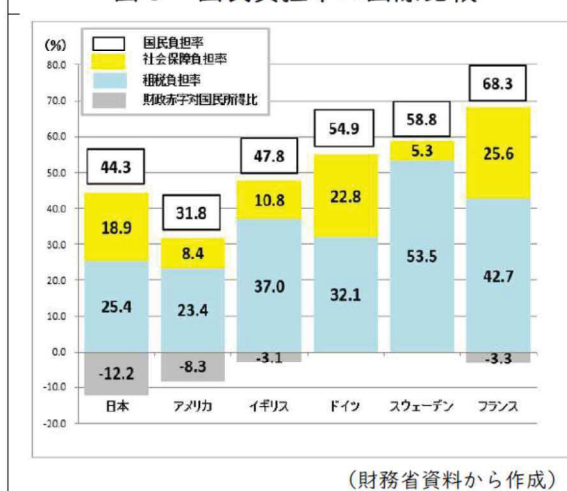
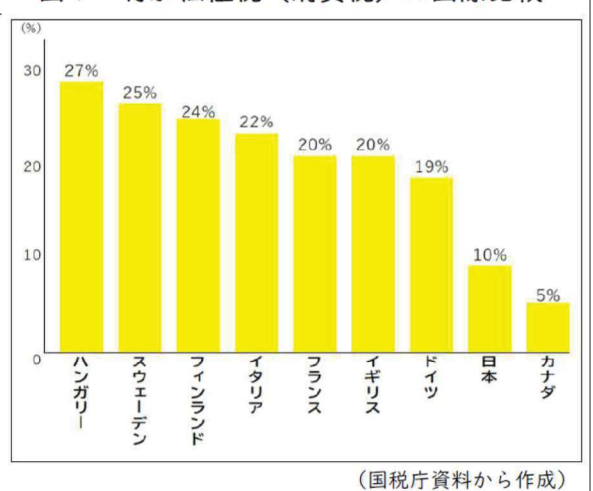


図7 付加価値税（消費税）の国際比較



② 低福祉低負担の国

図8 アメリカの人口割合（約3億3千万人：2020年）

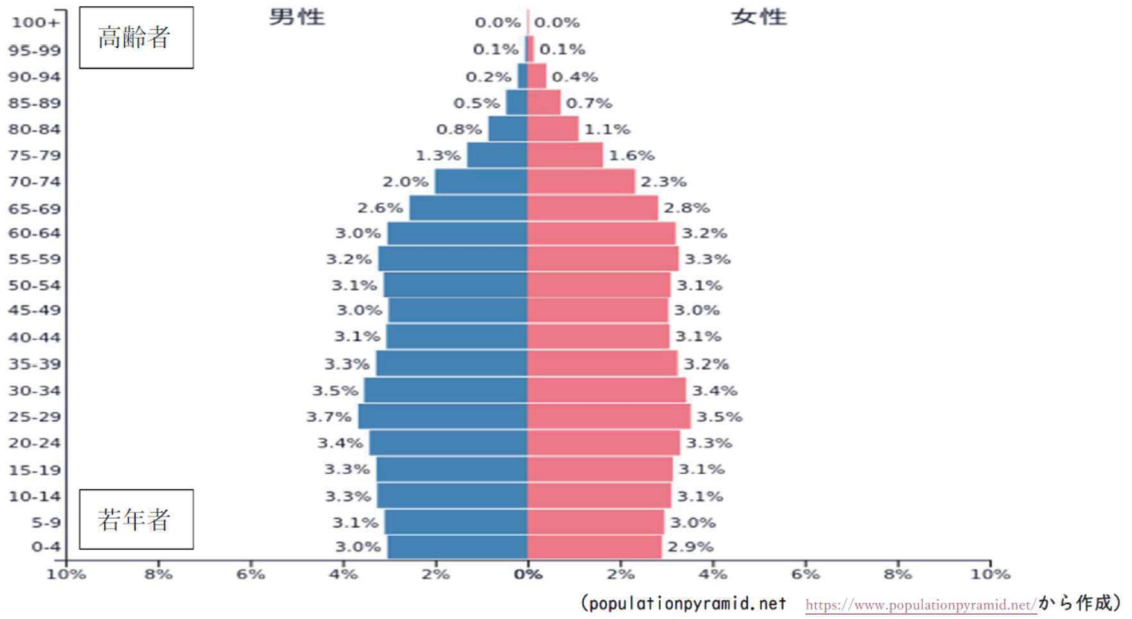


図9 特徴的な制度

項目	内容
医療	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分で民間の保険会社のプランに加入する。収入や人生設計に応じてプランを選べる。</li> <li>・高齢者、障がい者、低所得者向けに公的な医療保険制度がある。</li> </ul>

③ それぞれのメリット・デメリット

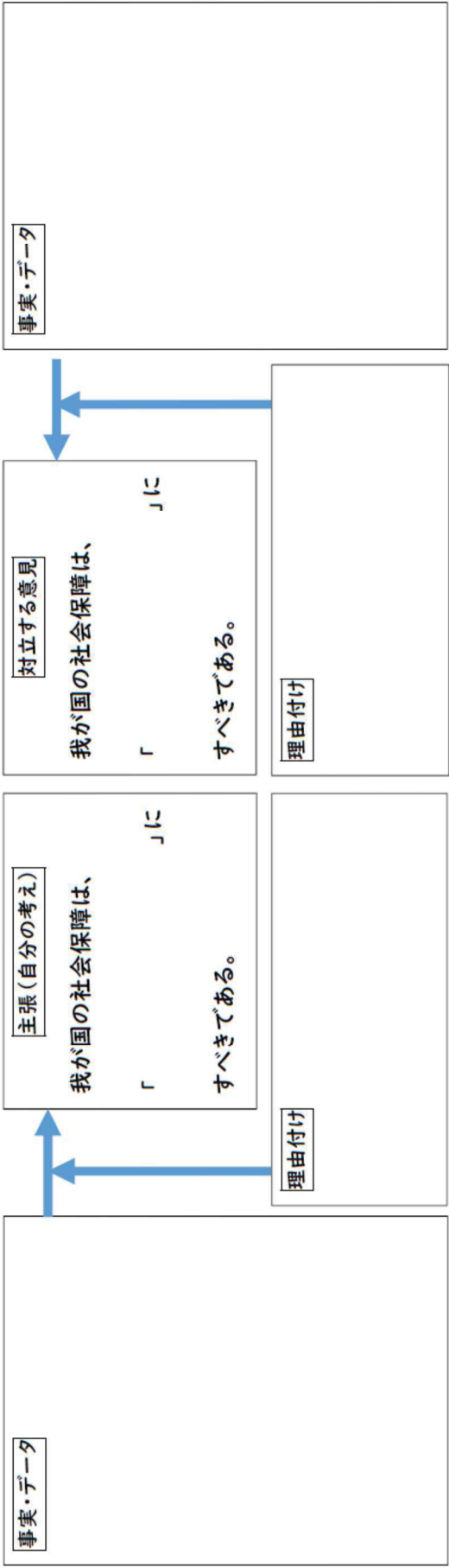
	高福祉高負担	低福祉低負担
メリット		
デメリット		

1年「現代社会（公共）」ワークシート 第4時 \_\_\_\_月\_\_\_\_日

1年\_\_組\_\_番 氏名\_\_

本時のテーマ

**我が国がめざすべき社会保障は、高福祉高負担か、高福祉低負担か、低福祉高負担か、低福祉低負担か。**



**【結論】** どうすれば持続可能な社会保障を実現できるか。

V 単元課題ワークシート

単元課題ワークシート			1年 組 番 氏名 _____
単元課題 (単元を通して追究する課題)			
[単元課題に対するあなたの考え]			
知りたいこと、疑問に思うこと	調べたいこと	あなたの考え	
[毎時間の振り返り]			
① 日付 /	② 日付 /		
○今日の授業で学んだこと、考えたことを書きましょう。	○今日の授業で学んだこと、考えたことを書きましょう。	○質問や感想を書きましょう。	
○質問や感想を書きましょう。	○質問や感想を書きましょう。	○質問や感想を書きましょう。	
③ 日付 /	④ 日付 /		
○今日の授業で学んだこと、考えたことを書きましょう。	○今日の授業で学んだこと、考えたことを書きましょう。	○質問や感想を書きましょう。	
○質問や感想を書きましょう。	○質問や感想を書きましょう。	○質問や感想を書きましょう。	

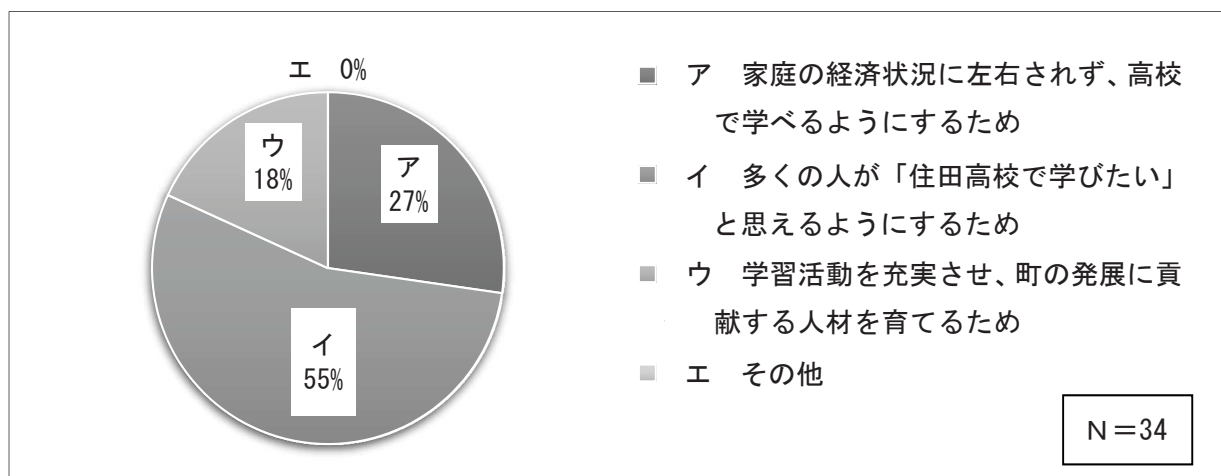
## 【補助資料2】事前調査・レディネステストについて

### I 事前調査・レディネステストの概要

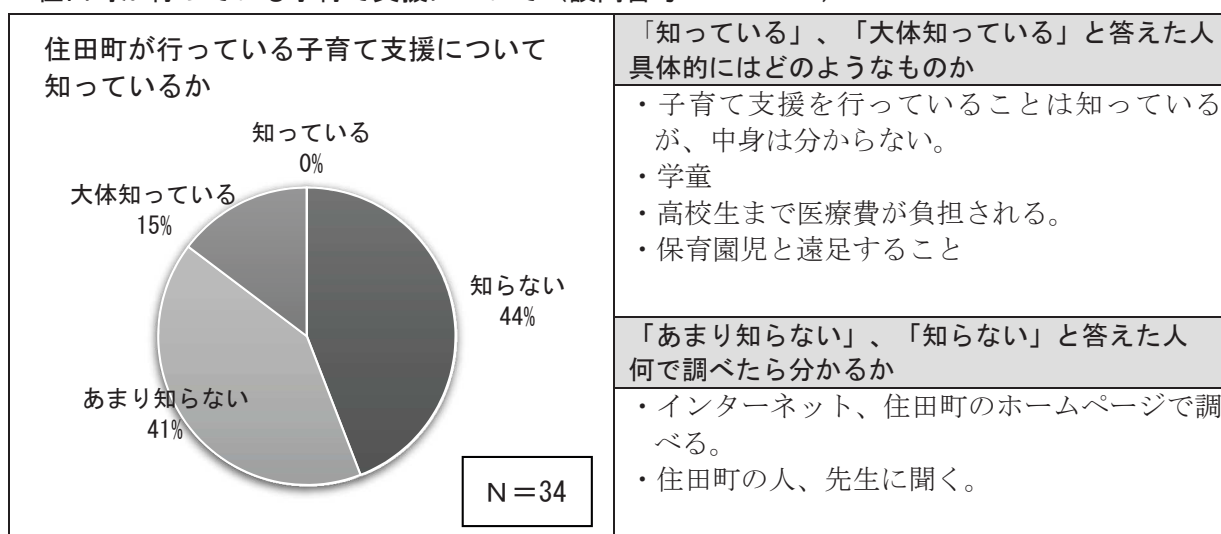
1 調査名	社会科及び「現代社会」の学習に関わる事前調査
2 目的	授業実践に先立ち、生徒の関心やレディネスの測定と授業前後の思考力、判断力、表現力等の高まりを分析するため。
3 期日	令和3年8月19日（木）
4 対象	住田高等学校1学年A・B組（34名）
5 方法	質問紙法

### II 調査結果

#### 1 住田町が住田高校に対して給食費や通学費等の補助といった教育支援を行う理由について（設問番号 No.1）

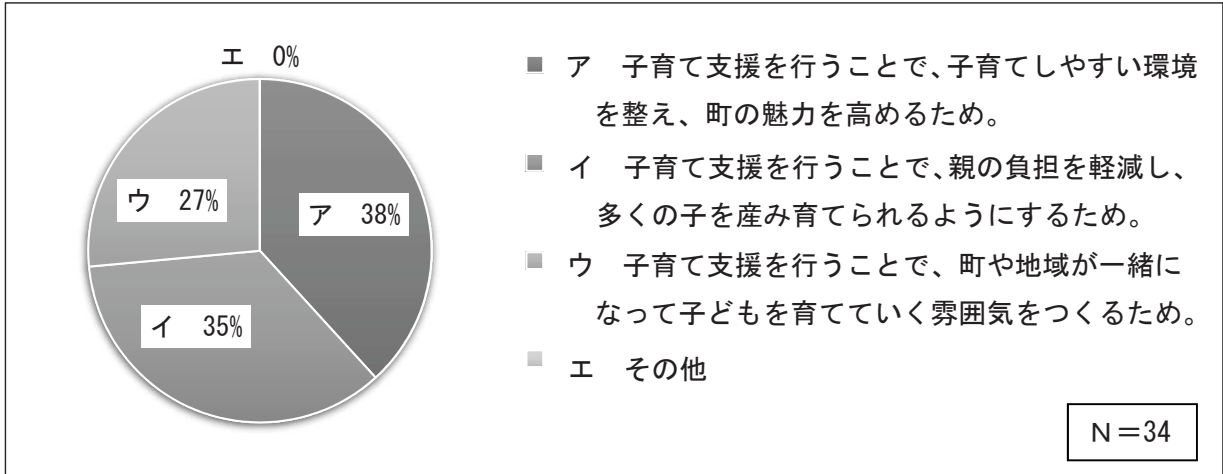


#### 2 住田町が行っている子育て支援について（設問番号 No.2～4）

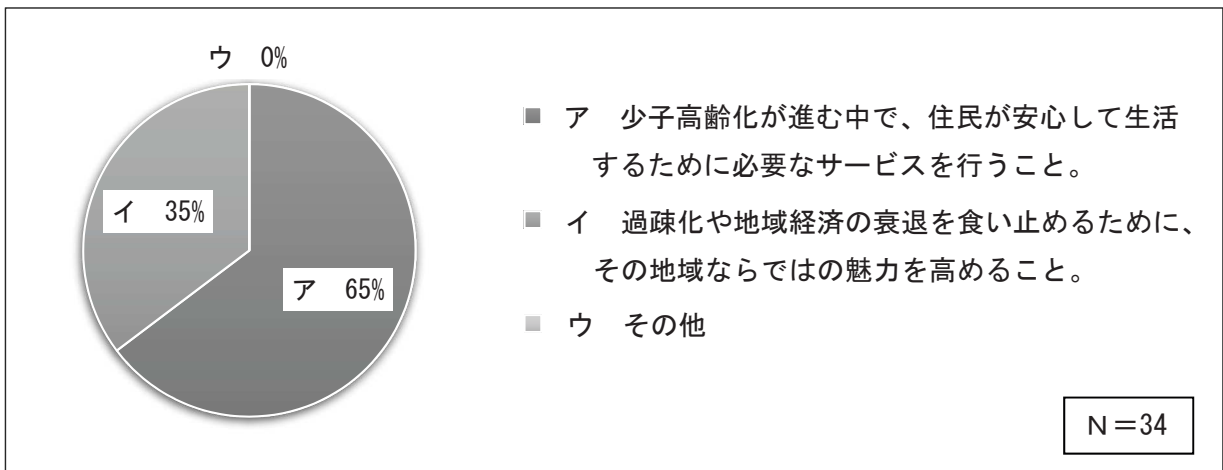




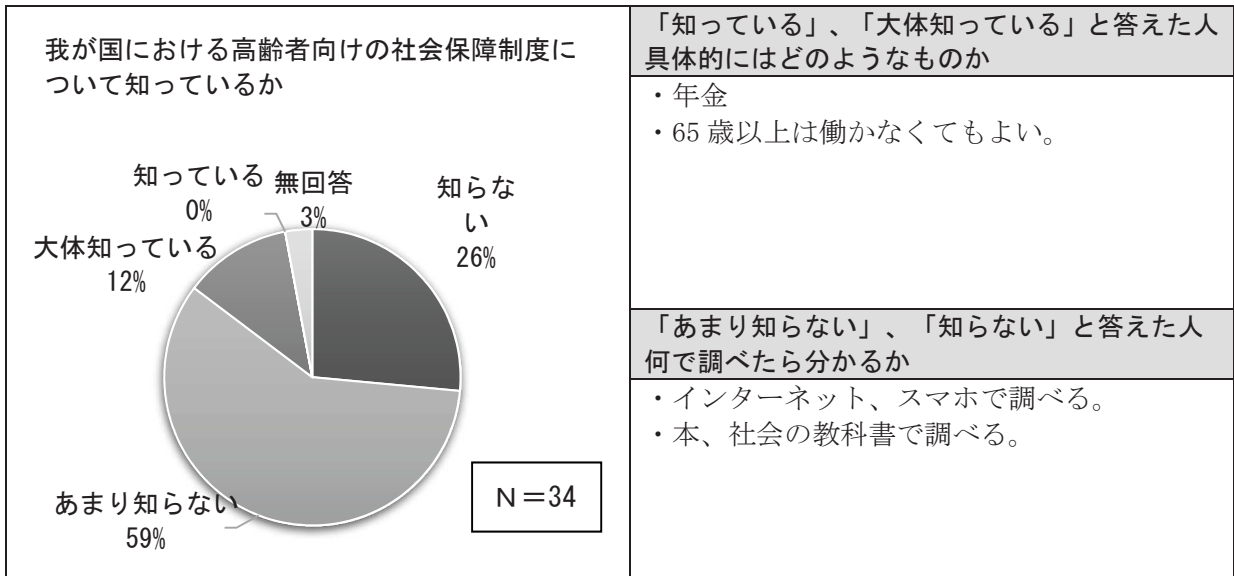
3 住田町が子育て支援を行っている理由について（設問番号 No.5）



4 住田町などの地方自治体が抱える課題について（設問番号 No.6）



5 我が国における高齢者向けの社会保障制度について（設問番号 No.7～9）



6 財政赤字の原因について（設問番号 No.10） ※□は同じ内容の人数

- ・お金が足りないから
- ・バブルがはじけて以後、国家でも多額の金額を負担してしまい、その国民から税金を払わなければならないほどの事態にさしかかっているから
- ・ものが売れないから
- ・3K
- ・いろいろなサービスや困っている人を助けるための制度に使うお金が多いから
- ・お金を使いすぎてしまったから
- ・お金をあまり使っていない
- ・日本の経済や県などが活性化していないから
- ・段々と人が店に来なくなってしまい、赤字を抱えている
- ・高齢者が多く、若い世代が少ないから。働ける人数が減少しているから
- ・社会保障が多いから
- ・東京オリンピックで会場の設営などで、お金を使いすぎた
- ・赤字になっているのは皆さんが求めたものとは違うから
- ・人が少ないから。儲けがない
- ・コロナもあって各家庭に給付金をあげているから
- ・いろいろなところにお金を使っているから 2
- ・コロナや少子高齢化社会でお店から納める税金などが少ないから 2
- ・一定の場所しかサービスを提供できていないから
- ・国から輸入しているのが多い
- ・生産と消費のバランスが良くないから
- ・年金などにたくさんのお金を使っているから
- ・お金の使い方が上手ではない
- ・コロナの影響で多額の赤字を抱えている 2
- ・高齢化が進み、働き手が少なくなっているから。また、コロナウィルスの影響で経済が回らなくなっているし、外国との貿易をうまく行えていないから
- ・考えなしにお金を使うから
- ・同じものを何度も作ったり、余計なものを必要としているから
- ・少子高齢化による働き手不足

7 持続可能な社会保障のために必要なことについて（設問番号 No.11） ※□は同じ内容の人数

① 自分でできること

- ・困っている人の手伝い
- ・無回答 5
- ・友達と相談 2
- ・町の良さを伝える。ご当地品のPRなどをする。
- ・いろんなものを買う。
- ・地域で行われているボランティアなどに積極的に参加する。
- ・ボランティアに取り組んだり、ゴミ拾いをして住みやすい町にする。
- ・経済を回す。
- ・早寝、早起き、朝ご飯など、できることをつづける。
- ・健康に暮らす
- ・自分のできることをたくさん行う。ボランティアに参加する。
- ・税金を納める。2
- ・税を払う。有効に使う。ボランティアに参加する。
- ・ありのまま。自由
- ・コロナ対策
- ・少しでも社会の助けになることをする。
- ・仕事につくこと。
- ・働く。2
- ・互いに支え合い、助け合う。3
- ・社会がまわるように生活する。
- ・進路について考える。
- ・たくさん働いて経済を回すこと。
- ・高校生のうちから社会保険制度に興味をもち、どのような制度かを知ること、考えること。
- ・自分にできることをする
- ・例えばコロナだったら完璧にかからないというのは難しいけど、手洗いうがいなどの対策をする（心がける）。

## ② 家族・地域でできること

- ・チームワーク
- ・無回答 7
- ・周り相談 2
- ・買い物などで税金を払う。その町ならではの伝統芸を広める。
- ・みんなで支え合う。3
- ・地域で行うボランティアなどを考えて実行する。
- ・いろいろなボランティアに参加する。
- ・地域や市をよくする。交流する。
- ・地域の人々と助け合う。
- ・地域でイベントを行い、住田町を多くの人に知ってもらう。
- ・税を払う。ボランティアを企画する。
- ・協力 かかわり コミュニケーション
- ・コロナを減らす取組
- ・自分のまちが暮らしやすいように町づくりをしていくこと。
- ・家族で話し合っ社会の助けになることをする。
- ・困ったことがあったら協力し合うこと。
- ・周りの人が困っていたら支え合ったりしている。
- ・家族、地域の人たちが暮らしやすい環境をつくる。
- ・社会が回せるようにする。
- ・高齢者だけの地域にしない。
- ・お金の負担を減らす。活性化。
- ・市町村が衰退しないように、今まである事業だけでなく、新しい事業を取り入れ、市町村を活性化させること。
- ・協力
- ・社会保障制度に必要なものを加えてほしいという意見を出す
- ・困っている人がいたら助ける。

## ③ 国・地方自治体で取り組むこと

- ・信頼関係
- ・無回答 6
- ・会議 2
- ・政治に必要なカネを会社などの金融を通じて国民から集め、様々な政策を執り行う。
- ・国民や県民が助かる制度や条例を考える。いろいろなボランティアを企画し、実行する。
- ・自然豊かで、人々が暮らしやすい町づくりをする。
- ・国民の声を聞く。
- ・人の意見やほかの国のことを見て、やってみる。
- ・これからも社会全体で支え合う。
- ・社会保障制度を見直して、よりよい制度にしていく。
- ・需要に応じて税金を使う。
- ・税を払う。良さを生かしたことを日本中、世界中に広める。
- ・国民が暮らしやすい制度や支援を行う。
- ・コロナに対する考え方の見直し。政治家の人たちは、よく悪いことをしている。しっかりと話し合いを行ったほうがいい。本当にオリンピックを行ってよかったのか？都会の人たちは危機感が全くなくなっている。
- ・全国国民の安全を守ること。
- ・社会を支える。
- ・国民が住みやすく、安全な法律をつくる。
- ・社会で困っている人がいなくなるように応援する。
- ・国民が生活しやすいように最低限のサービスを提供する。
- ・社会がまわるようにする。
- ・社会の意見を聞き、よりよくしていく。
- ・たくさんお金をあげる。
- ・国の問題解決
- ・社会保障制度を続けやすいように、法律や制度の在り方を見直していくこと。
- ・協力
- ・さまざまな世代の意見を取り入れる
- ・落ちているゴミなどがあったらきれいにする。

8 累進課税を行っている理由（3—①） ※は同じ内容の人数

- ・生活しやすくするため。
- ・無回答 4
- ・そのほうが後々困らないから。
- ・所得が少ない人から高い税を取ると、その人の生活に支障が出るから。
- ・お金を持っていない人と持っている人の差を小さくするため。
- ・所得が高い人と少ない人の課税される所得の金額を一緒にしてしまうと、所得が少ない人の税負担が大きくなり、後に負担できなくなって生活が苦しくなってしまうから。
- ・同じくらいの金額にしなければならないから。
- ・税率の4000万以上が一番高い。
- ・所得が低い人と高い人が同じ額を支払うと、低い人が最低限の生活を送ることが難しくなるから。
- ・税を多く払って、国の借金をなくす。
- ・これからも増えていくと思うから。
- ・働く人が減っているから、若い人が働くと税率が高くなってしまうから。
- ・所得が低い人と所得が高い人の経済格差を小さくするため。
- ・前と比べると消費税が上がったりしているから。
- ・一人一人に合わせてやるため（生きていくため、生活に困らないため）。給料の量をできるだけ公平にするため。
- ・少子高齢化。国内で生産する量や種類が少ないこと。
- ・国にお金が少ないから。
- ・国の経済を安定させるため。
- ・所得が少ない人が高額な金額を納めないように、国民一人一人の負担が少ないようにしている。
- ・地位の高い順
- ・平等にするため。お金を持っている裕福な人がお金の少ない生活の苦しい人を助けるという形をつくるため。
- ・お金持ちだから。
- ・皆を平等にするため。 4
- ・額が大きくなるにつれて税率が高くなると赤字になる
- ・所得の少ない人と多い人から同じ額を負担すると、より一人一人の経済格差が大きくなってしまうから。 2
- ・分かりやすいように低所得者の税負担を軽くするため

9 少子高齢社会における社会保障の課題（3—②） ※は同じ内容の人数

- ・どんどん若者たちが減っていくことで、高齢者が増え、生活が難しくなる。
- ・無回答 2
- ・若者を増やす。
- ・少子高齢により、若い人が少なくなってしまう。
- ・日本の人口が少なくなる。
- ・2000年から、高齢者一人あたりに対する負担がどんどん大きくなる。2050年には高齢者一人に対する負担が一人になってしまう。
- ・段々減っている。
- ・年が進むにつれ、20～64歳の人たちが減っている。 3
- ・65歳以上の高齢者を支える人を増やす。
- ・若い人たちが高齢者を支えていけなくなる。 3
- ・20～64歳の人たちの人口が段々減っているけど、65歳以上の高齢者は変わらない。
- ・2000年は3人で1人を支えているが、2050年になると1.3人が高齢者を支えていかなければならない。2050年よりもっと先は1人につき1人みたいになる。
- ・20～64歳の人たちの負担が大きくなっている。
- ・年々、高齢者が支える人数が減り、少子高齢化が悪化してしまっている課題。
- ・人が少ないことで、1人が1人の高齢者を支えることが多くなり、支える人も大変だからと高齢者が生活できずらくなる。
- ・税金をたくさん納めないといけないこと
- ・高齢者が増えることによって歳を重ねることにつれて、若い人たちが少なくなっている。
- ・若者が減り、高齢者を支える人が少なくなる。 2
- ・2050年になると約1人で65歳以上の高齢者を支えていかななくてはならないという課題
- ・高齢者を支える若い人たちの人数が年々減っている。 3
- ・20～64歳の人たちの負担が大きくなっている。 2
- ・一人にかかる負担が大きいこと。
- ・一人の高齢者に対する若者の数が少ないから、若者の負担が大きくなる。
- ・20～64歳人口の支えている人が減ると、高齢者が増えていく。
- ・少子高齢化は高齢がふえると少子化が減り、高齢化を支える人が少なくなっていく。

10 社会保障制度の違い（3-③）

※□は同じ内容の人数

理解の状況（正答率・無回答率）	
・ 正答率（記号選択部分）	73.5%（25人／34人）
・ 無回答率（記号選択部分）	20.6%（7人／34人）
・ 無回答率（理由記述部分）	11.8%（4人／34人）
「A国（低福祉低負担型の国）」を選択した理由記述	1人／32人（選択なしの2人を除く）
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ B国はすべてにお金がかからず国が負う負担が大きいから。</li> </ul>	
「B国（高福祉高負担型の国）」を選択した理由記述	31人／32人（選択なしの2人を除く）
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 老後で働けなくなった方々でも安心して生活できる。□2</li> <li>・ 授業料がないのが良いと思ったから。□2</li> <li>・ ライフラインなどが楽に使えなくなってしまうよりは、高い税金を納めたほうが良いと思う。</li> <li>・ 儲けが少なくてもなんとか生活できそうだと思うから。</li> <li>・ 年収の60%を税金で納めるようだが、高い教育費を払わずに誰でも自分の学びたいことを学べる。老後が安定している。</li> <li>・ 少し高いが、快適な暮らしが送れる。</li> <li>・ 年収の60%は多いかもしれないが、納めることで、医療費は国が負担し、大学の授業料が無料だから平等に学習できる。</li> <li>・ 税金は高いけど、若い層から高齢者の層まで安心して生活できると思うから。</li> <li>・ 年収の60%を税金で納めるけど、学校や大学までの授業料が無料だし、医療費は負担するし、老後の年金支給ありだから。</li> <li>・ 大学に行くまで無料の方がたくさんの方が学べるので良いと思ったから。</li> <li>・ すべての国民が平等だから。</li> <li>・ 授業料がないことは良いことだと思ったから。親に負担がかからない。</li> <li>・ 税金を納めるのは大変だけど、老後の年金支給で自分が助かるから。</li> <li>・ 自己負担が少ないし、授業料が無料だと学びたいことを学べるから。老後も働かないで生活ができるから。</li> <li>・ 医療費を国が負担してくれるから。</li> <li>・ すべての国民が平等な生活を送ることができるから。</li> <li>・ 人間はみんな平等のほうが良いと思うから。</li> <li>・ みんなが平等だが、年収に差があるかもしれない。</li> <li>・ 大学までの授業が無料で、医療費は全額国が負担してくれるから。</li> <li>・ たくさんの方が幸せになれるから。</li> <li>・ 年収を納めれば良い生活ができるから。</li> <li>・ 税は高いが、その分のメリットは多い。</li> <li>・ 平等にすれば、言い合いもなくなるし、安全に生活できるから。</li> <li>・ すべての国民が平等な生活を送れるほうが、安心して生きていけると思うし、今の日本はB国に近い政策をとっていると思うから。</li> <li>・ 抱えている課題や困っている具合などは人によって異なる。だから国はみんなが平等な生活を送れるようにしなければならない。</li> <li>・ 税金を多く払ったら授業料が無料になったりして多くの人たちが暮らしやすくなるから。</li> <li>・ A国は授業が高いけど、B国は大学までの授業料が無料が良いと思ったから。</li> </ul>	

### Ⅲ 質問紙（模範解答例あり）

#### 社会科及び「現代社会」の学習に関わる事前調査

8月24日～9月2日に行う授業で、社会保障と財政に関することを学習します。それに先立ち、社会科及び「現代社会」の学習について、次の質問に答えてください。

なお、成績とは関係ありませんから、思ったことをそのまま答えてください。

- 1 あなたの所属・名前 1年\_\_組\_\_番 名前\_\_\_\_\_
- 2 次のNo.1～11について、社会科や「現代社会」の学習やあなたが経験したことを思い出しながら答えてください。

No.	項目				
1	<p>住田町は、住田高校に対して給食費や通学費等の補助といった教育支援を行っています。その理由として考えられるものは何ですか。最も近いと思うものを、次のア～エのうちから1つ選び、○をつけてください。エを選んだ人は、その理由をカッコの空欄に書いてください。</p> <p>ア 教育支援を行うことで、家庭の経済状況に左右されず、高校で学べるようにするため。                      イ 教育支援を行うことで、多くの人が「住田高校で学びたい」と思えるようにするため。                      ウ 教育支援を行うことで、学習活動を充実させ、町の発展に貢献する人材を育てるため。                      エ その他（ _____ ）</p>				
2	住田町が行っている子育て支援を知っていますか？ 当てはまるものに○をつけてください。	知って いる	だいたい 知って いる	あまり 知らない	知らない
3	<p>2で「知っている」、「だいたい知っている」と答えた人                      具体的にはどのようなものですか？ 知っていることを書いてください。</p> <p>例：子ども医療費助成、学童保育、放課後子ども教室、乳幼児検診、乳幼児保育料の減免、                      第3子から出産祝い金30万円 など</p>				
4	<p>2で「あまり知らない」、「知らない」と答えた人                      何で調べたら分かると思いますか？ 思いつくことを書いてください。</p> <p>例：住田町のホームページや広報など</p>				
5	<p>住田町が子育て支援を行っている理由として考えられるものは何ですか。最も近いと思うものを、次のア～エのうちから1つ選び、○をつけてください。エを選んだ人は、その理由をカッコの空欄に書いてください。</p> <p>ア 子育て支援を行うことで、子育てしやすい環境を整え、町の魅力を高めるため。                      イ 子育て支援を行うことで、親の負担を軽減し、多くの子を産み育てられるようにするため。                      ウ 子育て支援を行うことで、町や地域が一緒になって子どもを育てていく雰囲気をつくるため。                      エ その他（ _____ ）</p>				
6	<p>住田町などの地方自治体が抱える課題は何ですか。最も近いと思うものを、次のア～ウのうちから1つ選び、○をつけてください。ウを選んだ人は、その理由をカッコの空欄に書いてください。</p> <p>ア 少子高齢化が進む中で、住民が安心して生活するために必要なサービスを行うこと。                      イ 過疎化や地域経済の衰退を食い止めるために、その地域ならではの魅力を高めること。                      ウ その他（ _____ ）</p>				



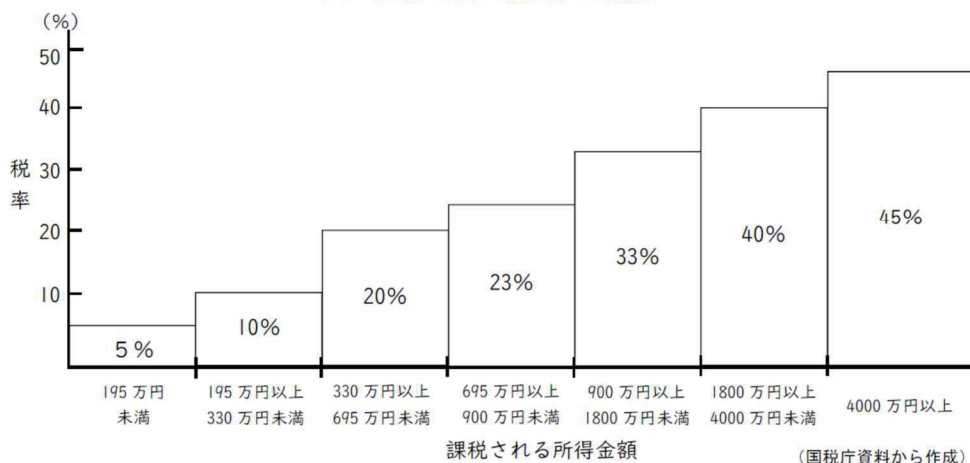
7	我が国における高齢者向けの社会保障制度について知っていますか？ 当てはまるものに○をつけてください。	知っている	だいたい知っている	あまり知らない	知らない
8	7で「知っている」、「だいたい知っている」と答えた人 具体的にはどのようなものですか？ 知っていることを書いてください。  例：年金、後期高齢者医療制度、介護保険制度など				
9	7で「あまり知らない」、「知らない」と答えた人 何で調べたら分かりますか？ 思いつくことを書いてください。  例：厚生労働省、社会保険機構などのホームページなど				
10	地方自治体や国の財政をみると、多額の財政赤字を抱えていることが問題となっています。なぜ多額の財政赤字を抱えているのでしょうか。あなたの考えを書いてください。  記述例： ・急速な高齢化によって高齢者の生活を支えるための年金、医療制度などの社会保障関係費が増加し、それらを賄うために赤字国債を発行しているから。 ・国民（住民）の福祉を保障するための政策にかかる費用を賄うために、赤字国債を発行しているから。 ・景気の落ち込みに対し、公共事業を実施するなどの景気対策を行ってきたが、その費用を赤字国債の発行で対応してきたから。				
11	生活の不安やさまざまな困り事に対して、社会全体で支え合い、健康で文化的な最低限度の生活ができるようにする社会保障制度がこれからもずっと続いていくために必要なことは何ですか。 ①自分、②家族・地域、③国・地方自治体の項目ごとにあなたの考えを書いてください。				
	①自分でできること	②家族・地域でできること	③国・地方自治体で取り組むこと		
	記述例： ・老後の資金を蓄えたり、医療保険に加入したりして、生活不安のリスクに備えておく。 ・福祉ボランティアに参加し、地域福祉の力になる。	記述例： ・普段から地域のつながりを大切にする。 ・地域のサークルに所属し、介護予防や介護講座に参加する。 ・休日や急な用事で子どもの面倒を見るのが大変な時に、地域で子どもの一時預かりをする。	記述例： ・外国人が介護職員として働けるように雇用環境を整える。 ・十分な介護サービスが受けられる施設であるかどうかを点検する。 ・高齢者だけでなく、子育て等にも対応した社会保障制度をつくっていく。		

3 次の質問①～③について、社会科や「現代社会」の学習を生かして教えてください。

質問

① 次の図は、我が国の所得と税負担の関係を模式的に示したものです。税負担を公平にするために、個人の所得税や相続税では所得や遺産の額が大きくなるにつれて税率が高くなる累進課税がとられています。なぜこの方式をとるのか、その理由を簡潔に下の解答欄に書いてください。

図 所得金額と税負担の関係

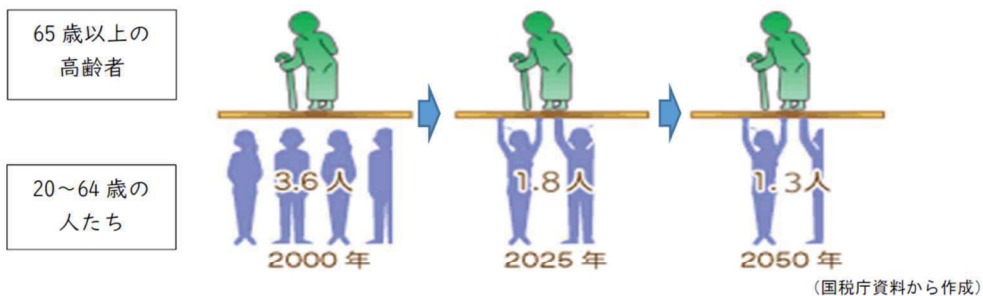


解答欄

例：所得が高い人たちがたくさん税金を払うことで、その税金が、所得が低い人たちの生活を支えるために使われ、貧富の差が広がらないようにするため。

② 次の図は、少子高齢化が進む我が国における社会保障の推移を模式的に示したものです。この図を見て、どのような課題があると考えますか。下の解答欄に書いてください。

図 65歳以上人口と20～64歳人口の比率



解答欄

例：高齢者を支える20～64歳の人たちの人口が減っていく中で、65歳以上の高齢者の暮らしを支える仕組みを維持できるか。

- ③ 次の資料は、A国とB国の社会保障政策の特徴を示したものです。両国はそれぞれどのようなことを重視した政策を行っていますか。当てはまる政策を下のア～イから1つずつ選び、記号で答えてください。また、あなたはどちらの国の政策がよいと考えますか。それぞれの国の社会保障政策の特徴を参考にし、理由も書いてください。解答は下の回答欄に書いてください。

資料 A国とB国の社会保障政策の特徴

A国	年収の30%を税金で納める。 高評価の私立学校が多いが、授業料は高い。 医療費は全額自己負担。老後の年金支給なし。
B国	年収の60%を税金で納める。 学校はすべて公立で、大学までの授業料が無料。 医療費は全額国が負担。老後の年金支給あり。

(育鵬社『最新 新しいみんなの公民』を参考に作成)

- ア 誰からも制限されずに、儲けを追求できることを重視する政策  
イ すべての国民が平等な生活を送れることを重視する政策

解答欄

重視する政策： A国— [ **ア** ]      B国— [ **イ** ]  
あなたがよいと考える国： A国 ・ B国      (どちらかに○をつける)  
理由： **納税額が低く、自由な経済活動を行うことができるから。(A国)**  
**納税額は高いが、すべての人に老後の年金が保障されているから。(B国)**

事前調査は以上です。

## 【補助資料3】事後調査について

### I 事後調査の概要

- |   |     |                              |
|---|-----|------------------------------|
| 1 | 調査名 | 社会科及び「現代社会」の学習に関わる事後調査       |
| 2 | 目的  | 授業後の思考力、判断力、表現力等の高まりを分析するため。 |
| 3 | 期日  | 令和3年9月7日(火)                  |
| 4 | 対象  | 住田高等学校1学年A・B組(34名)           |
| 5 | 方法  | 質問紙法                         |

### II 調査結果

#### 1 財政赤字の原因について(設問番号No.1) ※は同じ内容の人数

- ・福祉サービスや施設が増えてしまうから
- ・国は社会保障関係費で最も多い歳出だから。
- ・公債や歳出などの差が広がり、国のほぼ全体が借金が増えてしまっているから。
- ・国が多額の借金を抱え、高齢化、少子化のために歳出が多くなるため、その出費をまかなうため。
- ・人々があまりものを買わないから。
- ・医療などに多額の公債をし、国民の生活をよりよいものにしようとしているから。
- ・公共事業にまだまだお金を使いすぎていると思うのでむだをなくす。働き手を増やし、借金をなくす。
- ・高齢者や病気にかかった人を助けるために民生費や社会保障費などが増えたから。
- ・民生費や教育費など、自治体や国が負担しているから。また、高齢者が増えているので、介護費などに使われているから。
- ・経済が回せなくなっていたり、働き手が少なくなっていて、税収が少なくなっているから。
- ・歳出が多くなっていて借金をしてしまう。
- ・高齢者が多く、若い世代が少ないから。働ける人数が減少しているから。
- ・社会保障が多いから。
- ・歳出と税収の差があることによって、公債の発行が増え、借金の原因となったから。
- ・少子高齢化が原因で赤字が出ている。理由は、地方では民生費、国では社会保障関係費といった目的が同じ歳出が多く、働く人が少なくなっているため。
- ・高齢者の医療サービスでお金がかかっているから。
- ・日本は中福祉低負担で、歳出が多くなってお金がかかってしまうから。
- ・地方や国に給付金をあげたり、病院代を補助したりと国や地方が負担しているから、赤字になってしまう。
- ・国が高齢者や貧しい人たちに援助をしているため。
- ・高齢化が進み、社会保障関係費が増加し、税収不足を公債金で補っているから。
- ・高齢者が多くなっていることと、社会保障制度を維持していることから。
- ・少子高齢化が進行している中で歳出が増えていて、歳出の中の民生費や社会保障関係費、高齢者を支えるお金が増えてきているから。
- ・高齢者が多くなって、社会保障が増えたから。少子高齢化の影響を受けていること。
- ・自分の国、町を維持するため。社会保障制度を維持するため。
- ・介護などにたくさんの税金を使っている
- ・公債費や社会保障などによって多額の赤字になっている
- ・だんだん高齢者が増えてきて、そのために施設などを作ったり、いろいろなサービスをしないといけなくてそれで赤字となっている。
- ・少子高齢化が進んでいるため、歳入が増えていないから。高齢者が増えているため、社会保障関係が増加し、それを公債金で補っているから。
- ・お年寄りへのサービスが高いついているから。社会保障制度にお金をかけているから。
- ・高齢者が年々増えていっているから、そのための必要なお金が多いから。
- ・無回答
- ・人口が減ってきているから
- ・少子高齢化による働き手不足、サービスにお金をかけすぎている

## 2 持続可能な社会保障のために必要なこと（設問番号No.2）

※□は同じ内容の人数

### ① 自分でできること

- ・ 自分自身でリスクに備える
- ・ 応援する。調べる。お年寄りを支える。
- ・ 働いている人のところへ向かい、話を聞く。その仕事を実際に体験する。
- ・ 収入に格差がないように、医療保険に入る。保険料をきちんと納める。
- ・ 地域や家族の手伝いをする。□
- ・ ボランティアなどに参加する
- ・ 働いて、お金を稼ぐ。税金を納める。□
- ・ 高齢者を支える。経済をまわす。ボランティアをする。
- ・ これからのことを考えて生活する。
- ・ 近所の人とつながり、助け合う。
- ・ 大した時には病院に行かない。あまり税金を使わないようにする。
- ・ 今からでも学習をしておいて、将来自分がどのような生活を送ったらよいかを予測しておく。
- ・ 税金を納める。□
- ・ 健康であることが必要。医療費が増えたり、税金が高くなるようにするため。
- ・ 適度に運動し、栄養を考えながら自分の健康を維持する。
- ・ 健康に過ごすこと。SDGsに取り組む。結婚をして子どもを育てる。
- ・ 自分自身の健康維持
- ・ 自分の暮らしは自分で守れるようにする
- ・ 選挙などで自分の意見をしっかり主張する。
- ・ 自分自身で病気などのリスクに備えておく
- ・ 周囲の人に頼りすぎない。困っている人がいたら助ける。
- ・ 積極的にボランティアに参加する。
- ・ ボランティア、子どもや高齢者とのふれあい、高齢者の手伝い
- ・ 自分たちで高齢者を介護する
- ・ ボランティアなどに参加する。お助け隊のような地域ボランティア
- ・ 自分の暮らしは自分で守り、リスクに備える
- ・ 社会保障のメリット・デメリットを覚えておく。大人になったときに将来のことを考えて税を負担する。
- ・ 健康であること。働くこと。納税すること。
- ・ 国に自分なりの意見を出す。
- ・ 無回答
- ・ 健康でいられるようにする
- ・ 困っている人の相談にのる。健康を保つ。地域を支えるボランティア活動に参加する。

### ② 家族・地域でできること

- ・ 助け合う。□
- ・ 孤独死などが出ないように近所の人と相談する。困っている人を見つける。
- ・ お年寄りの世話をしっかりとする。年寄りがいっても困らない生活環境をつくる。
- ・ 高齢者、子どもを支えるため、お金を出し、コストのいい、ささいな労力をかけて支える方法を考える。
- ・ 高齢者・幼児のサポートをする。
- ・ ボランティアなどを計画する
- ・ みんなが納めた税金で地域の福祉施設をつくる。
- ・ 経済をまわす。高齢者を支える。
- ・ あいさつや会話をし、互いの交流を深める。
- ・ 働く。地域の人の交流。
- ・ 近所の人とお年寄りの状況をお話をする。
- ・ 地域のお年寄りを支えるボランティアに参加。
- ・ 高齢者や子どもとふれ合う機会をつくる
- ・ 地域ボランティア。お互いに協力する。
- ・ 地域の助け合い。税金を払う。
- ・ 助け合い、交流する。地域の独り暮らし高齢者を支えるボランティア
- ・ よびかけ、ポスター、地域の支え合いのようなイベント
- ・ 困っている人を助けたり、ボランティアに積極的に参加する。
- ・ 家族で「もしものこと」を話し合っておく。
- ・ 家族や地域が災害などのリスクに備えておく
- ・ 家族、地域どうして互いに支え合う。
- ・ 地域の人たちと交流ができる施設をつくる
- ・ ボランティア 子どもを増やす。
- ・ 定期的な家庭訪問（原文ママ）
- ・ みんなで協力して介護をする
- ・ 手伝えることは手伝う



- ・もしも何かがあった場合に備えて、互いに支え合う
- ・子育て、高齢者に対する手厚い福祉事業を行い、市町村を活性化させる。
- ・ある程度の収入を得て、税金をきちんと払い、十分なサービスを受けられるようにする。
- ・市長が多くの意見を聞いて、国に提出する
- ・無回答
- ・自分の仕事に集中させる。稼いで税を納める。
- ・地域の集会に参加する。近所づきあいやつながりをつくる。

### ③ 国・地方自治体で取り組むこと

- ・福祉サービスを提供する
- ・制度が豊かになるために会議して決める。
- ・生活保護、保障などでお年寄りの方々が不自由のない生活を提供する。
- ・財政で何かおかしいことがあったら、直に、または遠回りでもいいから、国や自治体にその思いをぶつける。
- ・保険をすすめるようにする。老後に必要なお金を得るために民間の保険に入る。
- ・もっとよりよい制度になるように考える
- ・国の借金を減らす。
- ・公債金を減らす。今の税金の使い方が正しいか、確かめる。国民の意見を聞くだけではなく、どうすれば解決できるかなどをみる。
- ・日本に住んでいる人たちに支援や援助ができるように、よりよい制度をつくる。
- ・借金が増えないような税の使い方を会議で決める。
- ・病院に行けない人(一人暮らしの高齢者)などが安心できる医療サービスを考える。
- ・社会保障をさらによくする
- ・社会保障制度を通して、国民にあまり税負担をかけないようにする。
- ・税の使い方についての考え、呼びかけ。
- ・サービスを少しだけ減らす。経済を発展させるように技術力を高める。国民の信頼を得る。
- ・お金がかからないように工夫する(歳出が増えないように)。
- ・サービスを維持する。みんなの安心な暮らしを第一に考える。
- ・選挙で、自分の意見に近い政党に投票する。
- ・高福祉低負担に変えるような法律を作る
- ・高齢者の人口が多い県や地方を支援できる制度をつくる。
- ・国民が平等で公的サービスを受けられるようにする。
- ・子育て世代の税免除
- ・赤字を増やさないようにサービスを見直す
- ・介護施設を増やす
- ・補助をつける ②
- ・借金をしてでも福祉サービスを維持すべき。
- ・社会保障制度が続くように、法律や制度、公債や税について見直す。
- ・可能な限り、充実した社会保障制度をつくること。
- ・市からの意見や国民の意見を聞き入れ、それらを反映させる
- ・無回答
- ・コロナ対策
- ・講習会もしくは集会などを行い、地域のつながりをつくれるような行事をする。

### 3 授業後のアンケート(設問番号 3(1)、3(2))

Q 毎時間、生徒が書いた疑問や振り返りを取り上げながら、前の時間に学んだ内容を振り返ったり、その時間で学ぶ内容を共有したりしました。この方法は、あなたの学習に役立ちましたか？

N=34

そう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	そう思わない
18人/34人(53%)	16人/34人(47%)	0人/34人(0%)	0人/34人(0%)

#### 「そう思う」「ややそう思う」の理由記述

- ・他の人の意見もみて、いろいろな方法があることが分かった。
- ・分かりやすかったから。
- ・振り返りは大事だから。
- ・これからの日本で必ず向き合わなければならないことだから。
- ・自分の思い、考えを気軽に示すことができたから。
- ・友達がどんな考え方をしているか、分かるから。
- ・自分ない考えもあったから
- ・国に起こっているいろいろな出来事を詳しく知れたし、他の人の意見をみて、「こんな意見もあるんだ」と知れたので、良かった。
- ・疑問に思ったことを見て視野が広がったから。



- ・自分とは違う考えがあったから、より考えが深まった。
- ・みんなどんなことを書いているか知れるし、簡単に共有できる
- ・自分だけじゃ分からないところも共有できたと思ったから。
- ・自分の意見とは違った意見があって、納得できる部分もあった。自分の意見が見つからなかった時、他の人の意見があったことで、意見を見つけることができた。
- ・他の人の意見を知れたから
- ・自分が考えたこと以外にいろいろ書いていたので参考になりました。
- ・他の生徒が考えたことを知り、見方が広がったからです。
- ・他の人の考えを知れたから。自分にはない考えを知れて、さらに内容が深まると思ったから。
- ・自分とは違った意見がさけてよかった。
- ・自分の意見だけでなく、違う人の意見も聞けたから。
- ・いろいろな意見を知って、自分の意見をもっと広げられるから。
- ・みんなの考えを共有して自分の考えにも生かすことができるから
- ・他の人の意見を知ることができたから。
- ・前の時間に学んだことを振り返ってから、さらに疑問な点を調べたりすることができるから
- ・これから大人になっていくにつれて、子育て支援をしっかりと考えたい
- ・他の人の意見を知れた
- ・今の日本がどういう福祉をしているかが知れた
- ・他の人の考えに触れることができ、自分では思いつかない考え方を見ることができる
- ・他の人の考えもそれぞれあってこんなこともあるんだと気づくことができたので役立った
- ・自分と異なる意見や反対の意見を知ることができたから。
- ・自分とは違った考えを取り入れられるから。
- ・自分以外の意見から学べるから。
- ・自分以外の意見も取り入れることができたから。
- ・振り返ったり、他の人の意見を聞けたから
- ・他の人がどう考えているのか、どう思っているか知ることができるから

#### 4 授業後のアンケート（設問番号 3（3）、3（4））

Q 制度のメリット・デメリットをまとめたり、図を使って自分の考えを表現したりする学習活動をしました。これらの方法は、学習したことを整理したり、あなたの考えをまとめたりすることに役立ちましたか？ N=34

そう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	そう思わない
18人/34人 (53%)	15人/34人 (44%)	1人/34人 (3%)	0人/34人 (0%)

##### 「そう思う」「ややそう思う」の理由記述

- ・表現できたのでよかった
- ・難しかった
- ・自分の考えを表現することは将来にもつながるから。
- ・他の意見もみて自分の意見を固めることができたから。
- ・前に学んだことを、自然と確認できたし、表などを見るのも上手になってきた。
- ・学習したことを整理したり、考えをまとめることができたから。
- ・いろいろな立場を考えることができた
- ・図を使ってまとめることは、自分的にはとても分かりやすいと思ったからです。
- ・良い点と悪い点を別々にまとめたら見やすくなった。
- ・自分の考えを書いてまとめると何を伝えたいなどが自分でも分かりやすくなり、よりよい授業ができた。
- ・言葉や文章で書くだけだと伝わらない部分もあるから、図や表で相手に伝わりやすかった。
- ・自分は図で表現するのが苦手だったけど、自分なりにまとめることができた。
- ・図を使うことで、分(原文ママ)では伝えられないことを表せたり、とても分かりやすいと思ったから。
- ・図から読み取り、まとめることができたから。
- ・図を使うって表現することが今までと違っていいなと思ったからです。
- ・メリット・デメリットをまとめ、学習で使うことができたから。
- ・自分では文章にまとめるのが苦手だし、理解するのも難しいので、図を使ってまとめる方が分かりやすい。
- ・文章をずっと書くよりも図などでまとめたり、整理した方が頭に入りやすかった。家庭学習で復習して書きやすいと思った。
- ・それぞれのメリット、デメリットを理解できてよかった。
- ・メリット・デメリットを、みんなでもまとめることができ、分かりやすかったから。
- ・メリット・デメリットをまとめることによって、この制度の何が足りないのかが分かったから。
- ・とても分かりやすくまとめられるから。
- ・メリットやデメリットを考えたり、図にすることによってその内容をもっと分かりやすくなったから。
- ・制度のメリット、デメリットを考えることにより、自分の考えた意見と照らし合わせて考えることができたから

- ・ 図などはあまり意識していないが、自分の考えをしっかりと表現できた
- ・ どちら側からの目線も考えられたから
- ・ 自分の考えを表現することが必要だと思うから
- ・ 図を使った方法は見やすく、違いがすぐ分かるから。
- ・ 図を使って自分の考えを持つことによって何かを聞かれた時でもしっかり言えるから。
- ・ 図を使うことによって、自分の考えをきれいにまとめることができたから。
- ・ 自分の考えがはっきりできたから。これからは生かされる。
- ・ まとめたことによって、よりよく勉強ができる
- ・ 学習したことを整理したり考えをまとめたりすることで後から振り返ることができた。
- ・ メリット・デメリットに気づくことができたから
- ・ 学習したことや、自分の考えなどを整理できたから

#### 「あまりそう思わない」の理由記述

- ・ 難しかった。

### 5 授業後の感想 (設問番号 3 (5))

- ・ これからの生活の中でたくさんの出来事があると思うが、乗り越えて頑張っていきたい。
- ・ 良かった。楽しかった。
- ・ とても楽しかったです。社会保障について知ることができてよかったです。
- ・ これからの日本の課題になるであろう、福祉について考えることができました。
- ・ 今までやってきた授業と比べると、違うようなところがいくつもあって、それなりに覚えやすかったり、確認しやすかった。
- ・ 高福祉高負担と低福祉低負担のどちらも良いと思いました。かなり考えて選ばないといけないことが分かりました。メリット・デメリットを書くのが難しかったです。
- ・ 政府や自治体の活動などが分かって良かった
- ・ 図をとおして学んだり、プリントをとおして学んだりして、分かりやすく学習できたし、一つ前の授業で書きたいいろいろな人の感想を次の時間で詳しく解説してもらったので、今まで曖昧だった考えを、しっかりと分かったので良かったです。少しテンポが早かったので、難しかったです。
- ・ 日本の経済や福祉を知れてとても楽しかったし、授業もとても面白かったです。
- ・ モニターに映し出された図や資料などが大きく、カラーで見やすかった。課題を解決するために、一つ一つ確認していくことで、具体的にどうしたら良いのかが、分かるようになってきた。ペアワークなどがけっこうあったから、自分にはない考えもたくさん聞けて良かった。
- ・ 日本にとってどんな社会保障がイイかなど、今日本にとって大事な事だと感じられたし、自分にとってもどうすればイイかなど考えたのでよかったです。
- ・ 日本は歳出は増えて、若者を増やそうとしていることが分かった。
- ・ 自分ではあまり考えていないようなところをたくさん知ることができた。日本はサービスがあまりないようなイメージがあるので、これから先、サービスが増えるといい。日本は高齢者が多くなり、病院に通うことができなったり、お金がなかったりする人が結構いると思うので、これから先、どのようなサービスができるか期待したいです。
- ・ 日本の課題について知ることができた。
- ・ 歳入や歳出から何が分かるのかなど授業を通して学ぶことができました。
- ・ やってみてとても勉強になった。普段考えないし、学べないので、今回の授業で制度や日本・地域の状況を知れたので良かった。今回授業したことを日常で思い出しながら生活したい。よりよい生活をするために考え、過ごしたい。授業を受けてみてとても分かりやすかったし、楽しかった。学んだことを親に話したい。まだ覚えられていないことがあるので、しっかり勉強したい。世界と日本を図で比べて違いがあることを知って驚いた。
- ・ 内容は難しかったが、資料もあってくらべることができやすかった。カラーだったのでさらに分かりやすかった。市町村や国は思っている以上に借金があり、私たちのために多くのお金がかかっていることが分かった。私は少しでも負担をかけないように病気やけがをしないようにしたい。国に頼ってばかりではなく、国民も協力しないといけない問題は解決しないので、借金が多くならないため、私たちが生活を日頃から意識しないといけない。働ける人は働き、経済を回す。これからは大変な時代が来る。
- ・ 楽しく学べてよかったです。
- ・ 今までは国に全然興味がなかったけど、授業を通して興味が持てた。
- ・ 自分の意見と相手の意見を比べて、比較ができ、もっと自分の考えを広げられた。
- ・ とても難しい内容で、考えることはみんな違うことが分かってよかったです。
- ・ 今まで自分の町や県、日本の社会保障について考えたことがなく、改めて考えることができた。それに今の日本の現状を知ることができた。
- ・ 今の授業を通して、日本の今直面している問題の大変さについて改めて学ぶことができた。その中でも自分は警察官になりたいと思っているので、困っている人、高齢者の人を助け、安心して生活できるようにしたいと思った。そして、自分だけの問題だと思わず、みんなの問題をみんなで解決していくことの大切さについて今回の授業を通して学ぶことができた。
- ・ 初めての体験だったけど、楽しく学べて社会にでて使えそうなので、もっと復習したい。

- ・ はじめての先生で戸惑ったが、ついていけたのでよかった。これからも現社を頑張りたい。
- ・ いろいろな考えをしている人たちと交流できて良かった
- ・ いつもとは違って、少し緊張したところもあったけど、とても分かりやすく、図にもまとめながら、自分の考え、相手の考えも尊重しながらできてよかった。地方自治体について知れて、私たちにできることを主体的に考えることができそう。
- ・ 最初はあまり分からないことなどが多かったけど、やっていくうちに自分の考えを持つこともできたし、疑問なども持つことができてよかった。
- ・ はじめは社会保障に対してメリットしかないと思っていたけれど、学習していくうちにデメリットや、デメリットの対策のしかたが分かった。また、社会保障制度を自分のこととして見ることで、より考えを深めることができた。
- ・ プリントを使って、具体的に自分の考えをまとめたことで、社会に出る上で身に付けておくべきことを学べた。
- ・ 社会福祉などについて、学んで、これからは活かせるのでよかった。
- ・ 今回お授業で社会保障制度を支えるために必要なことや高福祉高負担や低福祉低負担のメリットやデメリットなど知れて良かった。
- ・ 国のお金に関する授業で考えるのは大変だった。将来に活かせるようにしてみたい。
- ・ 今回の授業では、地方や県、国の財政、財政状況、福祉のことについて学習することができた。

Ⅲ 質問紙（模範解答例は省略）

社会科及び「現代社会」の学習に関わる事後調査

今回の授業では、社会保障と財政に関することを学習しました。学習したことを生かし、次の質問に答えてください。これは成績とは関係ありません。思ったことをそのまま答えてください。

1 あなたの所属・名前 1年\_\_組\_\_番 名前\_\_\_\_\_

2 次のNo.1～2について、今回の授業で学んだことを思い出しながら答えてください。

No.	項目						
1	<p>地方自治体や国の財政をみると、多額の財政赤字を抱えていることが問題となっています。なぜ多額の財政赤字を抱えているのでしょうか。学習したことを生かし、あなたの考えを書いてください。</p>						
2	<p>生活の不安やさまざまな困り事に対して、社会全体で支え合い、健康で文化的な最低限度の生活ができるようにする社会保障制度がこれからもずっと続いていくために必要なことは何ですか。学習したことを生かし、①自分、②家族・地域、③国・地方自治体の項目ごとにあなたの考えを下の欄に書いてください。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>①自分でできること</th> <th>②家族・地域でできること</th> <th>③国・地方自治体で取り組むこと</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="height: 150px;"></td> <td style="height: 150px;"></td> <td style="height: 150px;"></td> </tr> </tbody> </table>	①自分でできること	②家族・地域でできること	③国・地方自治体で取り組むこと			
①自分でできること	②家族・地域でできること	③国・地方自治体で取り組むこと					

裏面の質問にも解答してください。

3 授業後の感想について

(1)	毎時間、生徒が書いた疑問や振り返りなどを取り上げながら、前の時間に学んだ内容を振り返ったり、その時間で学ぶ内容を共有したりしました。(右図:実際のスライド) この方法は、あなたの学習に役立ちましたか? 当てはまるものに○をつけてください。				
	そう思う	やや そう思う	あまり そう思わない	そう 思わない	
(2)	(1)で答えた理由や感想を簡単に書いてください。				
(3)	制度のメリット・デメリットをまとめたり、図を使って自分の考えを表現したりする学習活動をしました。これらの方法は、学習したことを整理したり、あなたの考えをまとめたりすることに役立ちましたか? 当てはまるものに○をつけてください。				
	そう思う	やや そう思う	あまり そう思わない	そう 思わない	
(4)	(3)で答えた理由や感想を書いてください。				
(5)	今回の授業について感想を記入してください。				

事後調査は以上です。ありがとうございました。